

国語科学習指導案

授業者 西條 秀哉

1. 単元名 『奈良公園のナンキンハゼは全て伐採すべきか』

2. 単元の目標

- ・物事を判断する際の情報を収集し、その情報を相手に的確に伝えるための工夫ができている。
- ・ディベートを行う際は相手チームの意見を受け入れつつ自分達の意見を分かりやすく伝えることができる。
- ・仲間と協力してディベートを行い、自分の考えの変容について理解するとともに、その考えについて行動化できる。

3. 指導について

(1) 児童観

このクラスの児童は、提示された問題について自分の意見を明確にして文章に表現することができる。しかし、自分以外の友達の考えや視点を聞き入れ、自分の考えを深めることを苦手とする児童が多い。そこで、今回の授業を経て、児童たちがディベートという形で、扱う問題に対する否定派と肯定派両面の視点から物事を多面的に考えること、話し合う上で相手の主張を受け入れた上で自分の考えを深めることの2点を育みたい。

(2) 教材観

今回行うディベートは、議論をする練習になる。児童が主体となってディベートを行うことでコミュニケーション能力を高めることができる。また物事を一面からではなく多面的に捉える経験になる。加えて、ディベート当日までにチームで協力して準備をする必要があることから、仲間と協力することの難しさ、そして面白さを体験できると共に、物事の良し悪しを考える際に自分の手でしっかりと調べ、その上で自分の意見を判断することができるようになることを考える。一種の競技的な要素も含まれているため、児童にとつて意欲的に取り組む動機付けになると考える。

また、ディベートの題材を「奈良のナンキンハゼ」にすることで、身近なところにある、ナンキンハゼが抱える観光的、景観的によい面と、自然環境、世界遺産に関わる悪い面の両側面を持っている問題について知り、考えるきっかけになる。

今回導入部分で利用する「ネイチャーゲーム」とは、「直接的な自然体験を通して自分を自然の一部ととらえ、生きることのよこびと自然から得た感動を共有することによって、自らの行動を内側から変化させ、心豊かな生活を送る」というシェアリングネイチャーの精神に基づいた活動である。事前に自然に関する知識を持っていなくても、自然の中の様々な特徴を生かしたゲームを行うことで、楽しく遊びながら自然について学んだり想像力を高めたりすることのできる活動である。

(3) 指導観

まず身近にあるナンキンハゼに、より一層愛着を抱くことができるようにするため、実際に奈良公園に向かってネイチャーゲームを行う。第一次では、そのネイチャーゲームの中から「落ち葉川柳」と「フィールドビンゴ」を行う。「落ち葉川柳」は、大きさや形、色、虫食いなど1枚1枚個性が違う葉っぱをしっかりと観察し、その特徴を川柳にし

て歌うことでその特徴を際立たせ、読み手の感性を養う活動である。「フィールドビンゴ」は「見つける、聞く、触る、嗅ぐ」など体の様々な感覚を使って自然物や自然現象を見つける活動である。このような五感を使って自然に触れるという活動的な授業の中に、ナンキンハゼの姿をちりばめることで、ナンキンハゼの第一印象を良いものにしたい。第一印象を感動的で親しみのあるものにするすることで、児童が第二次以降のナンキンハゼの良い面、悪い面を学ぶ際に、主体的、意欲的に授業に参加できると考える。

次にその後のディベートでの準備から本番に向けての授業については、ディベートの競技的な醍醐味や難しさについて説明し、児童の意欲を高める。その上で、準備の時間は児童の主体性にある程度任せ、教員はそのサポートをする。この段階で児童が主体的、協力的に活動できるようにするために、また、活動の内容が充実したものになるために、ディベートの手順の説明や、資料の準備は徹底する必要がある。ディベート本番は肯定側否定側がそれぞれ調べてまとめてきた情報を全力で出せるようにする。ジャッジは公正に冷静に判断ができるようにする。そのためにも席の並びや時間設定など場づくりを丁寧に行っていく必要がある。

4. 単元で育成を目指す能力

【国語科としての能力】

- ・資料や情報の収集力・分析力を身に付ける。

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語編の「思考・判断・表現」A（1）アに該当

- ・発表能力や説得能力を身に付ける。

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語編の「思考・判断・表現」A（1）イ、ウに該当

- ・聞く能力を身に付ける。

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語編の「思考・判断・表現」A（1）エに該当

- ・批判能力を身に付ける。

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語編の「思考・判断・表現」A（2）ウに該当

【ESD の視点】

- ・批判的に考える力を養う
- ・多面的・総合的に考える力を身につける
- ・コミュニケーションを行う力を身につける
- ・他人と協力する態度を育成する

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習へ取り組む態度
・物事を判断する際の情報を収集し、その情報を相手に的確に伝えるための工夫をしようとしている。	・ディベートを行う際は相手チームの意見を受け入れつつ自分達の意見を分かりやすく伝えようとしている。	・仲間と協力してディベートを行い、自分の考えの変容について理解するとともに、その考えについて行動化しようとしている。

6. 指導計画（16時間）

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法など
第一次	○学習の見通しをもつ。		

	<p>●「ディベートにて、自分のチームを勝利に導こう」という学習の目標を提示して、学習計画を立てる。</p> <p>●最後に行うディベートのテーマをあらかじめ知る。</p> <p>お題「奈良公園のナンキンハゼは全て伐採すべきである」</p> <p>●軽くナンキンハゼについて知る。</p>	<p>どんな樹なのか、姿や色、形など実物や写真などを使って紹介する。</p>	
第二次	<p>○身近な題材で、ディベートの練習をする。</p> <p>●ディベートを行っている教材ビデオを用意して、大まかなディベートの流れや様子を見せる。</p> <p>●「携帯電話は学校に持ってくるべきである」というお題でディベートを行う。</p> <p>〔1回戦〕 肯定A VS 否定A (審判：肯定B 否定B)</p> <p>〔2回戦〕 肯定B VS 否定B (審判：肯定A 否定A)</p>	<p>メンバーの役割と、立論の文章を書くスペースと、メモをするスペースを用意したワークシートを作成する。</p> <p>チーム分けは、4パターンのくじ引きをあらかじめ用意して置き、それを児童に順番に引かせる。</p> <p>(肯定A、肯定B、否定A、否定Bの4種類)</p> <p>自分たちのチームに愛着を持てるように、チーム名を決めてから活動に入る。</p>	<p>◇ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や情報の収集力・分析力を身に付ける。 ・多面的・総合的に考える力 ・他人と協力する態度 ・発表能力や説得能力を身に付ける。 ・聞く能力を身に付ける。 ・批判的に考える力 ・コミュニケーションを行う力
第三次	<p>○「奈良公園のナンキンハゼは全て伐採すべきである」というお題でディベートを行う。</p> <p>●今回のお題でディベートをするために、まず何を必要があるのかを考える。</p> <p>●どうすれば、知る必要のある内容を知ることができるのか考える。</p> <p>●情報収集の為の活動を行う。</p> <p>〔フィールドワーク〕</p> <p>●ネイチャーゲームを行う</p> <p><落ち葉の百人一首></p> <p><フィールドビンゴ></p> <p>〔ナンキンハゼに詳しい方から</p>	<p>□前回のディベートで、準備の時に何をを行ったか考えさせる。</p> <p>□奈良公園植栽検討委</p>	<p>◇ビンゴカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や情報の収集力・分析力を身に付ける。 ・他人と協力する態度 <p>◇メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や情報の収集力・分析力を身に付ける。 ・多面的・総合的に考える力 <p>◇ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や情報の収集力・分析力を

	話を聞く] ●奈良公園植栽検討委員会の方と、春日山原始林を未来へつなぐ会の方に話をし、頂くよう依頼する。 ●得た情報から、再度チーム分けをし、ディベートの準備を始める。 ●ディベートを行う。	員会の方や、春日山原始林を未来へつなぐ会の方について話をし、頂くことで、経験や活動、実績など具体的な実話を基にした、説得力のある話が聞くことができる。 □前回と同様、チーム名決めから始め、フォーマットに書き込む形で準備を始める。	身に付ける。 ・多面的・総合的に考える力 ・他人と協力する態度 ・発表能力や説得能力を身に付ける。 ・聞く能力を身に付ける。 ・批判的に考える力 ・コミュニケーションを行う力
第四次	○自分たちの考えたお題でディベートを行う。 ●自分たちの身の回りで、問題になっていること、解決したいことを挙げる。 ●出たお題から一つ題材を選ぶ。 ●チーム分けをし、準備を行う。 ●ディベートを行う。	□選ばれたお題を、「○ ○は、○○すべきである」という形式にしてディベートのお題にする。	□第二次と同様

ディベート大会 作戦用紙 (肯定側) 表

チーム名: _____

名前	役職
○ ○	肯定側立論
○ ○	肯定側立論
○ ○	肯定側質疑
○ ○	肯定側質疑
○ ○	肯定側反駁
○ ○	肯定側反駁

お題 _____

立論 _____

裏

メモ _____

フィールドビンゴ カード

なまえ: _____

どんぐり 	虫が食べた葉っぱ 	 硬いもの
かぜの音 	ナンキンハゼの葉っぱ 	鳥の声 
赤色のもの 	きのこと 	鹿の親子 

ディベート用のワークシートの1例

フィールドビンゴで使うカードの1例